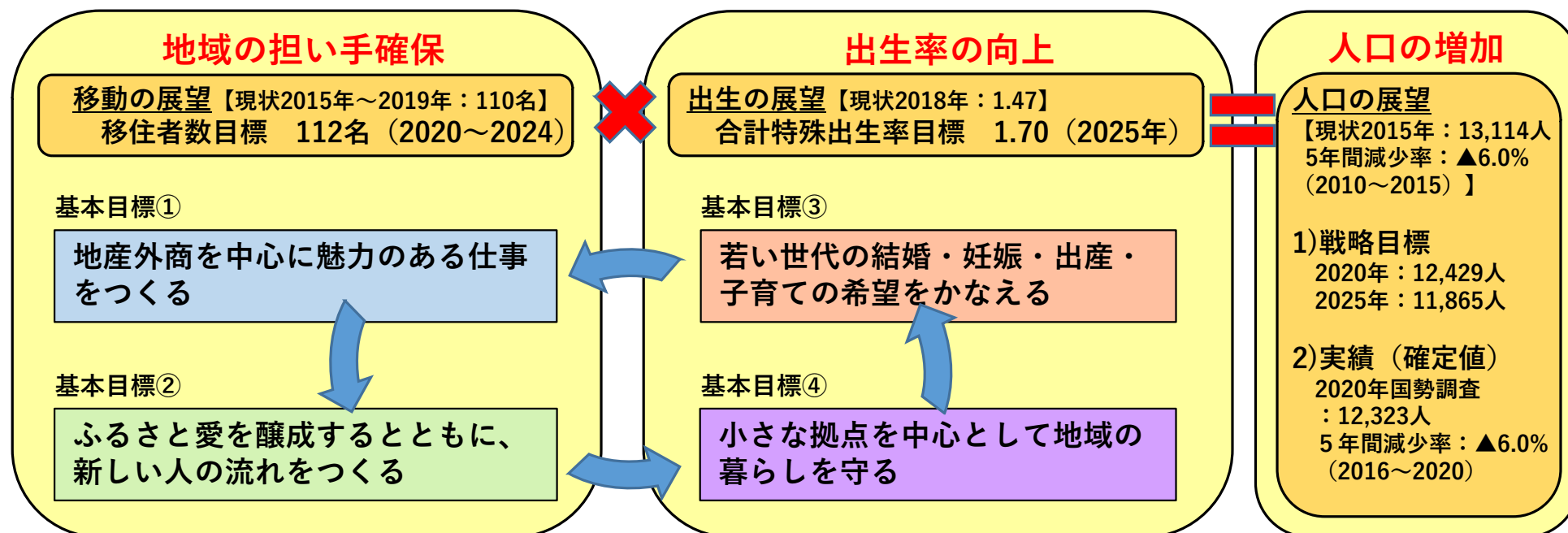


第2期佐川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像について【2020～2024】



▶ 地方創生に向けた基本的な考え方（基本目標の本旨）

基本目標① 道の駅を拠点とした生産・加工・販売と人材育成の好循環を町内全域に広げ、産業振興を図る

基本目標② ふるさと教育の推進と図書館を中心に学びのネットワークを構築し、定住と移住の促進を図る

基本目標③ ライフステージ（出会いから子育てまで）に応じたサポートを行い、女性活躍の場を整備する

基本目標④ 整備された小さな拠点を活用し、地域が元気で安心して暮らすことができる社会環境をつくる

第2期佐川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 1年目の成果について【2020】

①地産外商を中心に魅力のある仕事をつくる

（総括）コロナ禍の影響により観光客は減少したが、道の駅開業に向けた準備、地域資源の発掘、地場産品PR等を推進

- 道の駅基本計画策定、基本設計
- 観光振興
 - ・わんさかわっしょい体験博2020 1月～2月、23プログラムを造成
 - ・うえまち駅完成（2021.4月～）
- 農業、商工業振興
 - ・ふるさと納税活用とブランド化



③若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

（総括）ファミサポ会員数・のべ利用件数ともに増加し、地域全体での子育て環境の向上につながっている。

- ファミリーサポートセンター登録者112名（2020年度末）
103名（2019年度末）
- 子育て世代包括支援センターによるきめ細かな支援
- 子育て情報サイト「さくらさいたネット」のサポート



②ふるさと愛を醸成するとともに、新しい人の流れをつくる

（総括）地域づくり・教育・移住定住施策の柱事業が始動

- ふるさと教育の本格スタート
 - ・小学生、中学生向けの教材 SAKA・WA-KU（サカワーク）と電子書籍を用いた教育支援
- 地域おこし協力隊の雇用
 - ・新規9名（林業、ラボ、植物）
- 移住者向け住宅整備
 - ・空き家改修補助1件、空き家活用住宅整備4軒



④小さな拠点を中心として地域の暮らしを守る

（総括）コロナ禍でも可能な範囲での活動を工夫して継続

- 集落活動センター
 - ・参加者数 22,501人(▲14.1)
 - あったかふれあいセンター
 - ・利用者数 22,782人(▲1.6)
 - ・佐川地区に夢まちがオープン
 - さかわぐるぐるバス
 - ・乗客数 8,411人(▲3.3)
- （ ）の中は前年度実績との比較%

